

開発プロセス革新 実現プログラム 導入のお勧め

Program of Innovated Development System

大手企業での代表的な取り組み状況について



人員削減や拠点の統廃合もほぼ終わり、各企業とも中期利益目標達成のための方策として、開発期間の短縮(1/2等)や、開発コストの低減(1/3等)に取り組んでいます。それを実現する手段として、シミュレーションや設計支援システム(LAN)に数10億円を投資して活動を進めていますが、「ひとつも期間短縮できない」「無理やり開発期間を短縮したために、市場クレームが増えしまった」ということを良く聞きます。

開発プロセス革新実現プログラムとは・・・

貴社の中期経営目標達成のための目標値
開発期間=1/2,開発コスト=1/3,等,を達成するための

Success Story作り+実行

- ◆技術開発システム/商品開発システム
- ◆マネジメント
- ◆人材育成

を行うコンサルティングプログラムです。

開発システム(企業体質)の構造改革が実現します!

今までのコンサルティングの中で、開発をうまく行っている企業の分析を行い、その内容を体系づけ、随所に織り込んでいきます。従って、成功確率が高い内容になっているとご理解ください。

体系づけた内容をベースに、各企業にあわせてディスカッションを行い、進めていきます。開発プロセス革新を実現するガイド役が、当社のコンサルティングです。

Success Story

中期実行計画
の作成・実施

到達レベル

戦略テーマの抽出

ギャップの把握

現状レベル

Success Storyに含まれるもの【例】

	技術開発	商品開発
システム(しくみ)	技術開発テーマUp 技術開発の進め方	商品開発の進め方
マネジメント	評価方法(部門・人事)	評価方法(部門・人事)
戦略テーマ	シミュレーションを用いた設計の進め方の確立 過去ノウハウのデータベース化 ドキュメント作成ツールの整備	等

使用している
代表的な手法

QFD
Taguchi Methods
TRIZ
QI Basic

進め方の概要

- 1.各目標値に対する現状の把握
特に商品開発システム
- 2.目標達成できる商品開発システムの構築【到達レベル】
各部門の役割と責任の再定義
基本思想の定義
技術開発システムも含めて考える
- 3.商品開発・技術開発における評価のものさし作り
- 4.現状と到達レベルの各目標に対するギャップ把握
- 5.戦略テーマの抽出
- 6.目標達成までの実行計画の作成
- 7.実行
- 8.途中での達成状況把握
- 9.目標達成レベルの把握



貴社のご要望にあわせた範囲でのコンサルティングが可能です。
*今まで色々な導入を行ってきたが、目標レベルに達成せずお困りの方
*今後を考えると、検討を進める必要があるとお考えの方
*一度情報を入手してみたい方
ぜひ、当社までご連絡ください!
mailto: info@iteq.co.jp
TEL: 052-917-0711